

京都:Re-Search/大京都とは

京都府では交流人口の拡大、地域の活性化へ繋げるさまざまな取組を行っています。その一つとして、アーティストが一定期間滞在し、地域で制作を行うアーティスト・イン・レジデンス事業※「京都:Re-Search」を実施し、地域が本来持ち得ているポテンシャルやその魅力をアートの視点から引き出すことを試んでいます。

今年度は、2016年度舞鶴市を中心に行った「京都:Re-Search in 舞鶴」のリサーチをもとに、アーティスト×キュレーターによる地域の新しいドキュメント(＝記録)を作成する、『大京都 in 舞鶴』を開催します。参加アーティストは、「京都:Re-Search in 舞鶴」から2名を選抜し、新たに3組のキュレーターと招聘アーティストを迎え、約1ヶ月におよぶ滞在制作と、そのプロセスを舞鶴市内各所で公開し発表します。

※アーティスト・イン・レジデンス事業:

- ☐芸術制作を行う人物を一定期間ある土地に招聘し、その土地に滞在しながら作品制作を行うチャンスを提供する事業のこと。
- ☐ (日本国内では) アーティストの育成や支援だけでなく、空き家・商店街の空店舗を活用した地域振興や人の交流による地域活性化の手段としても用いられている。

会期中のプログラム

オープニングトーク

10月7日(土) 井上裕加里、SHIMURAbros 各会場にて

10月8日(日) 白田那智、高川和也 各会場にて

アーティスト×キュレータートーク

10月21日(土) 石神夏希×吉田雄一郎

10月22日(日) 高川和也×堀内奈穂子

10月29日(日) 井上裕加里、白田那智×原久子

11月4日(土) SHIMURAbros×西田雅希＆服部浩之

SHIMURAbros

旧作上映 10月7日(土)－9日(月・祝) 10:00－17:00 旧山内家

新作発表 11月4日(土)、5日(日) 10:00－17:00 旧山内家

石神夏希 上演1:10月23日(月)－11月3日(金・祝)

上演2:11月4日(土)、5日(日)

※会場や時間の詳細は決定次第、webおよびSNS等で告知します。

※全て予約不要、入場無料

舞鶴市内でのお祭りや、主なイベント

- A 芸術の秋 100人のアーティスト展** 9月29日(金)－10月22日(日)
ギャラリーサンムーン(舞鶴市字浜980)
- B いさざ会館文化祭** 10月8日(日)－9日(月・祝) いさざ会館(舞鶴市引土309)
- C 神崎馬踊り** 10月7日(土)－8日(日) 湊十二社(舞鶴市神崎)
- D 赤れんがフェスタin舞鶴** 10月21日(土)－22日(日)
舞鶴赤れんがパーク(舞鶴市字北吸1039-2)
- E カートゥーンまんが展** 10月26日(木)－31日(火)
アートスペース973(舞鶴市森973-1)
- F 吉原の太刀振** 11月2日(木)－3日(金・祝)
水無月神社(舞鶴市東吉原)、朝代神社(舞鶴市朝代13)
- G 大川神社秋の大祭** 11月3日(金・祝) 大川神社(舞鶴市字大川589)
- H 第70回はまっこだるま祭** 11月4日(土)－5日(日) 八島商店街一帯(舞鶴市字浜)
- I 舞鶴市総合文化祭** 9月29日(金)－11月26日(日)
主催 舞鶴市文化協会 0773-64-5109



石神 夏希 ISHIGAMI Natsuki
劇作家

市内
各所

1999年より劇団・ベピン結構設計を中心に劇作家として活動。慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科修了。近年は横浜を拠点に国内各地の地域や海外に滞在し、都市やコミュニティを素材にサイトスペシフィックな演劇やアートプロジェクトを手がける。また住宅やまちに関するリサーチ・企画、NPO法人『場所と物語』理事長、遊休不動産を活用したクリエイティブ拠点『The CAVE』の立ち上げおよびプログラムディレクションなど、空間や都市に関するさまざまなプロジェクトに携わる。



吉田 雄一郎 YOSHIDA Yuichiro
城崎国際アートセンター プログラム・ディレクター

1979年兵庫県生まれ、兵庫県豊岡市在住。トーキョーワンダーサイト、フェスティバル/トーキョーなどにて、コーディネーターとして勤務したのち、2015年から兵庫県豊岡市の舞台芸術専門のアーティスト・イン・レジデンス施設・城崎国際アートセンターのプログラム・ディレクターとして、レジデント・アーティストの選定や主催公演などの年間プログラムの企画立案に携わっている。北近畿・山陰地域の緩やかなアートネットワークを構想中。演劇カンパニー・マレビトの会のプロジェクト・メンバー。



SHIMURAbros シムラブロス
アーティスト

04

ユカ(1976年生。多摩美術大学卒、英国セントラル・セント・マーチンズ大学院修了)とケンタロウ(1979年生。東京工芸大学映像学科卒)による横浜出身の姉弟アーティストユニット。平成21年度 [第13回] 文化庁メディア芸術祭アート部門優秀賞受賞。欧州の主要国際映画祭での上映をはじめ、国内外の美術館で作品を展示している。2017年にはArtReview 誌(Asia) フューチャーグレートに選出。2014年にポーラ美術振興財団の助成を受けベルリンへ拠点を移し、現在はオラファー・エリアソンのスタジオに研究員として在籍中。



西田 雅希 NISHIDA Maki
キュレーター

慶應義塾大学文学部卒業、ロンドン大学UCL美術史学修士課程修了。2007年に渡英後、美術大学、美術館から商業画廊まで、公と民の様々な角度から教育、アーティストマネジメントと展覧会企画に携わる。あいちトリエンナーレ2016を経て日本に拠点を移し、フリーランスでキュレーションと執筆を行っている。近年の活動に、Tabakaleraリサーチ・レジデント・キュレーター(スペイン、2016)、Devi Art Foundation +The Japan Foundation New Delhi共催展覧会「On Line Dot」キュレーター(インド、2017)など。



服部 浩之 HATTORI Hiroyuki
インディペンデント・キュレーター

1978年愛知県生まれ。2006年早稲田大学大学院修了(建築学)。2009年-2016年青森公立大学国際芸術センター青森[ACAC]学芸員。アジア圏を中心に、展覧会やプロジェクト、リサーチ活動を展開している。近年の企画に「十和田奥入瀬芸術祭」(十和田市現代美術館、奥入瀬地域 | 2013年)や、「Media/Art Kitchen」(ジャカルタ、クアラルンプール、マニラ、バンコク、青森 | 2013年～2014年)、「あいちトリエンナーレ2016」、「アッセンブリッジ・ナゴヤ2016」、「ESCAPE from the SEA」(マレーシア国立美術館、Art Printing Works | 2017)などがある。



高川和也 TAKAGAWA Kazuya
アーティスト

02

1986年熊本県生まれ。2017年LUCE合同会社入社。近年は同社にて広告の企画/制作、映像やテキストを扱ったプロジェクトの発表を行う。主な展覧会に「ソーシャリー・エンゲイジド・アート展：社会を動かすアートの新潮流」(3331 Arts Chiyoda、東京、2017)、「ASK THE SELF」(Tokyo wonder site 本郷、東京、2015)「screen」(HIGURE17-15cas、東京、2014)、「Kazuya Takagawa soloshow」(3331 Arts Chiyoda、東京、2012)、など。



堀内 奈穂子 HORIUCHI Naoko
NPO法人アーツイニシアティヴウキョウ
[AIT/エイト]キュレーター

NPO法人アーツイニシアティヴウキョウ[AIT/エイト]キュレーター。エジンバラ・カレッジ・オブ・アート現代美術論修士課程修了。2008年より、NPO法人アーツイニシアティヴウキョウ[AIT/エイト]に携わる。AITでは、展覧会やイベント、トーク、企業プログラムの企画の他、教育プログラムM (Making Art Different) のレクチャーを務める。近年は、「Shuffling Space」(タイ、2015) キュレーター、「Invisible Energy」(ニュージーランド、2015) の共同キュレーターとして携わるほか、アークスプロジェクト(2013)、パラダイスエア(2015、2016)ゲストキュレーターを務める。



井上 裕加里 INOUE Yukari
現代美術作家

03

広島県生まれ。倉敷市立短期大学服飾美術学科、成安造形大学美術学部美術学科現代アートコース卒業。現在は、京都を拠点に活動を行う。主な活動に、「フェルトシュテルケ・インターナショナル2017－東アジア文化都市－」「Gallery PARC Art Competition 個展"堆積する空気"」など。「答え」は目の前にあり、見えていないのは「問い」である。私は、現代社会の身近な問題を主題に作品を制作する事で、社会に潜在するその「問い」を探そうと試みている。



白田 那智 USUDA Nachi
美術家

01

1991年生まれ。東京都出身。現在茨城県ひたちなか市那珂湊地区を拠点に活動を行う。2014年 武蔵野美術大学日本画学科卒業。主な経歴に2016年「MMMみなとメディアミュージアム2016」地域賞、SSS賞、アーティスト・イン・レジデンス「京都:Re-search in 舞鶴」など。主にその場所での人やものとの出会いを強く意識した制作を行う。また、刺激の強い色や、廃材など雑多なモチーフの重なり合いを造形によって作り出したり、或いは作品テーマと関連のある素材やモチーフを使い、変化し続ける「生きる」ことの実体を、作品の中にとどめるような制作をしている。



原 久子 HARA Hisako
アートプロデューサー

0103

京都市生まれ。90年代初頭よりアーティスト・イン・レジデンス、アートスペースの調査研究、アートプロジェクトや展覧会の企画・運営、執筆、編集、コンサルティングなどに携わる。主な展覧会共同企画に「六本木クロッシング2004」(森美術館、2004)、「Between Site and Space」(TWS渋谷、2008+ARTSPACE Sydney、2009)、「あいちトリエンナーレ2010」(愛知県美術館他、2010)他。共編著に『変貌する美術館』(昭和堂)など。専門は現代芸術、文化政策他。大阪電気通信大学教授。

京都府アーティスト・イン・レジデンス事業
「京都:Re-search」kyoto-research.com

大
京
都

だ
い
き
よ
う
と

in
舞
鶴
Maizuru

2017

10月7日[土]－11月5日[日] 10:00－17:00
入場無料 ※金・土・日・祝日のみ開場[10月7日(土)のみ16:00閉場]
石神夏希×吉田雄一郎 / SHIMURA bros×西田雅希 & 服部浩之
高川和也×堀内奈穂子 / 井上裕加里、白田那智×原久子

舞鶴へのアクセス

電車でのアクセス (JR)

京都	山陰本線、舞鶴線(特急)で約1時間40分
大阪	京都経由で約2時間20分
敦賀	小浜線で約2時間
名古屋	東海道新幹線、京都駅経由で約2時間30分

車でのアクセス

京都	京都縦貫自動車道、舞鶴若狭自動車道で約100km
大阪	中国自動車道、舞鶴若狭自動車道で約130km
名古屋	北陸自動車道、舞鶴若狭自動車道で約190km

バスでのアクセス

京都	直通で約1時間30分
大阪 梅田・なんば	直通で約2時間50分(梅田) 直通で約2時間10分(なんば)
神戸 三宮	直通で約2時間
東京 品川	直通で約9時間30分

フェリーでのアクセス

小樽	約20時間
----	-------



主催 京都:Re-Search実行委員会(京都府、舞鶴市、福知山市、京田辺市)
602-8570 京都府京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町
京都府文化スポーツ部文化交流事業課内
TEL 075-414-4279 メール bunkakoryu@pref.kyoto.lg.jp
http://kyoto-research.com

